



社会福祉法人 大和善隣館 中期計画



法人基本理念		『善隣のこころ』“いつでも どこでも そしてだれにでも われ等 善き隣人たらん”							
ビジョン2030		BCP運用開始	創立80周年	市外施設民営化?			創立85周年	SDGs目標達成期限	
西暦		2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
小松市入園児童総数推移(想定)		約5,200人(2020年)→約4,800人(2025年)			約4,500人(2030年)※10年で約▲700人、約13%の減少想定				
教育/保育施設数		8施設		9施設(+1)		9施設			
児童数 (利用定員)	大和こども園	225		225		225			
	やざき乳児保育園	20		20		20			
	松陽こども園	155		155		145(▲10~)			
	月津こども園	125		125		115(▲10~)			
	中海こども園	75		75		70(▲5~)			
	蓮代寺こども園	95		95		90(▲5~)			
	芦城児童クラブ1・2	90		90		90			
	蓮代寺学童クラブ	25		25		25			
	市外民営化(保育施設)			?		?			
	社会福祉連携推進法人?								
合計		810		810+α		780+α			
(常勤換算)職員数	正規(嘱託・準職員含)	97				89			
	(非常勤)パート	39				32			
	合計	135~145				120~130			
		<ul style="list-style-type: none"> ・園庭改修工事/防犯カメラ等設置/避難ゲート拡張工事(松陽こども園) <ul style="list-style-type: none"> ・法人モニュメント看板設置事業(法人設立80周年記念事業) ・太陽光発電設置事業(月津こども園) ・給食室改修工事(大和こども園) ・農園開発事業(蓮代寺こども園) ・施設整備事業(民営化施設)? 							
①利用定員 ②民営化 ③SDGs ④車両配置効率化		<p>①利用定員については施設所在地域の人口推移も留意しつつ実情に応じた設定を適宜検討する。「2040年問題」に直面することが想定されるこれからの約20年についても、地域の人口・世帯数、地域に応じた福祉ニーズの相違等を考慮した事業の展開に努めなければならない。</p> <p>②現在(2022年度)隣接市である能美市の民営化計画が進行中であると推定される。常勤換算の職員数の推移については基本的に定年退職(70歳定年想定)による自然減によるものであり、今後における人材の確保等、諸条件がクリアできる環境が整えば、市外進出(金沢市・野々市市・能美市等)も視野に入れ他市の施設運営も検討していきたい。</p> <p>③SDGs目標達成期限である2030年に向け、令和3年4月1日に宣言した6つのゴール(開発目標)について法人及び役職員一同が目指すべき目標を共通認識とし、各種取組に邁進していきたい。</p> <p>④現在、各施設に3台(大型バス・小型バス・公用車)を配置している。このうち大型バスの遊休時間が多く車両保有・職員確保経費が相応負担になっている。大型バスについては、2施設に1台(例:大和配置+松陽、蓮代寺配置+月津、中海配置+新施設)をベースに所有期間20~25年所有を目的に削減する。公用車更新時には、設置施設に応じてEV化を検討する。※大型バス配置施設は車庫有、かつハブ施設</p>							